



CONTENTS

トップコミットメント

私たちがめざす社会

事業戦略

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTドコモビジネスグループの
サステナビリティ

サステナビリティマネジメント

特集

社会

環境

人材

ガバナンス

第三者保証

企業情報

サステナビリティマネジメント

ガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標

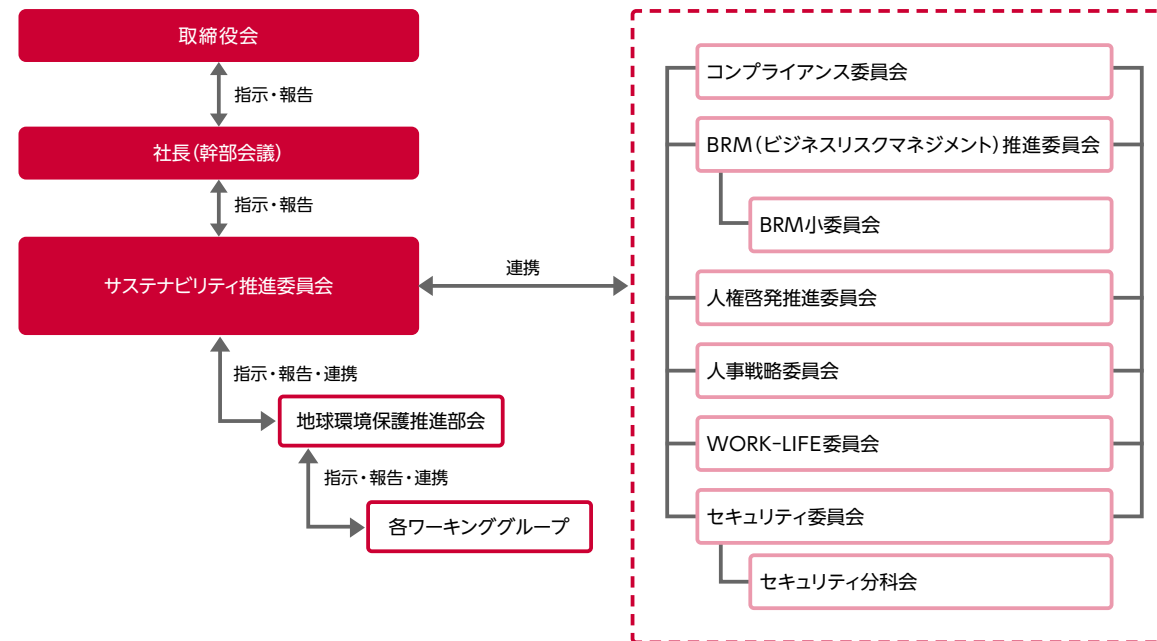
ガバナンス(サステナビリティ推進体制)

私たちは、ESGをめぐる顕在／潜在的な社会課題に対して対応策を検討し、サステナビリティ活動を総合的・戦略的かつ的確に推進・マネジメントしていくための会議体として「サステナビリティ推進委員会」を設置しています。委員会はサステナビリティ推進担当役員である常務執行役員を責任者と定め、各組織長(執

行役員など)、各グループ会社社長を構成メンバーとし、委員会内部には「地球環境保護推進部会」を設けています。また、サステナビリティ活動を推進するうえで対応すべき重要テーマについては、個別に委員会などが設置されており、これらの委員会と連携しつつ適切な対応を行うべく、グループ横断で情報共有・連携し、グループ全体でサステナビリティを推進する体制を構築しています。

このようなサステナビリティ推進体制のもと、各委員会などで報告・検討された事項については、取締役会へと共有されており、審議を経た後、課題の対応や経営戦略、事業計画の意思決定をするうえで最終決定を行っています。取締役会では、これらの取り組みとともに、監査役会からの提言などを総合し、サステナビリティ活動の戦略的かつ適確な推進に向けて、必要なガバナンスを実施しています。

[サステナビリティ推進体制図]



サステナビリティ推進委員会メンバー・事務局

委員長： サステナビリティ推進担当役員(常務執行役員)

委員： 各組織長(執行役員など)、
各NTTドコモビジネスグループ社長

事務局： サステナビリティ推進室



CONTENTS

トップコミットメント

私たちがめざす社会

事業戦略

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTドコモビジネスグループの
サステナビリティ

サステナビリティマネジメント

特集

 社会

 環境

 人材

 ガバナンス

第三者保証

企業情報

リスク管理

私たちは、事業の内外に潜在するリスクの発生を予想・予防し、リスクが顕在化した場合でも損失を最小限に抑え、持続的な成長に資することを目的として、リスクマネジメントの基本的事項を定めた「リスクマネジメント規程」を制定し、重点活動項目の主幹組織などにおいて必要な取り組みを行っています。また、事業運営に影響を及ぼすような大規模なリスクなどに適切に対応するための体制および仕組みとして、代表取締役副社長を委員長とする「ビジネスリスクマネジメント推進委員会」を設置し、リスクマネジメントのPDCAサイクルを構築・運用しており、サステナビリティ関連のリスクの識別、評価、管理に関するプロセスも、この総合的なリスク管理プロセスに統合されています。

このような各主管組織の主体的な社会課題・リスク・事業機会への取り組みおよび管理の実施をベースとしつつ、NTTドコモビジネスグループのサステナビリティ活動を総合的かつ適確に推進するため、ESGをめぐる国内外の最新動向や中期経営戦略・経営方針などを踏まえつつ、各主要推進事項と指標 (KPI) ・目標を総合調整のうえ、最終設定するとともに、その達成度合いを検証・評価・総括し、次年度の主要推進事項、指標の策定に反映しています。これらのプロセスは、サステナビリティ基本方針および重点課題の再検討なども含めて、サステナビリティ推進委員会を通じて実施されます。

戦略

NTTドコモビジネスグループはサステナビリティ基本方針の4つの重点領域 (社会・環境・人材・ガバナンス) における顕在／潜在的な社会課題やそれらに伴うリスクと事業機会に対応するため、重点活動項目の配下に主要推進事項を定め取り組んでいます。

特定した重点活動項目ごとの主要推進事項とその指標 (KPI) ・目標を設定することで、確実にPDCAを回し、管理しています。

P015 ▶ 主要推進事項の詳細はレポート内「指標・目標と活動の成果」中の表をご覧ください

● サステナビリティ関連の報酬連動指標の運営

重要なサステナビリティ指標 (温室効果ガス排出量、顧客エンゲージメント率、社員エンゲージメント率、および女性新任管理者登用率) については、役員報酬・全管理者の賞与の評価指標に設定し、指標の達成状況を報酬に反映させています。



CONTENTS

トップコミットメント

私たちがめざす社会

事業戦略

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTドコモビジネスグループの
サステナビリティ

サステナビリティマネジメント

特集

社会

環境

人材

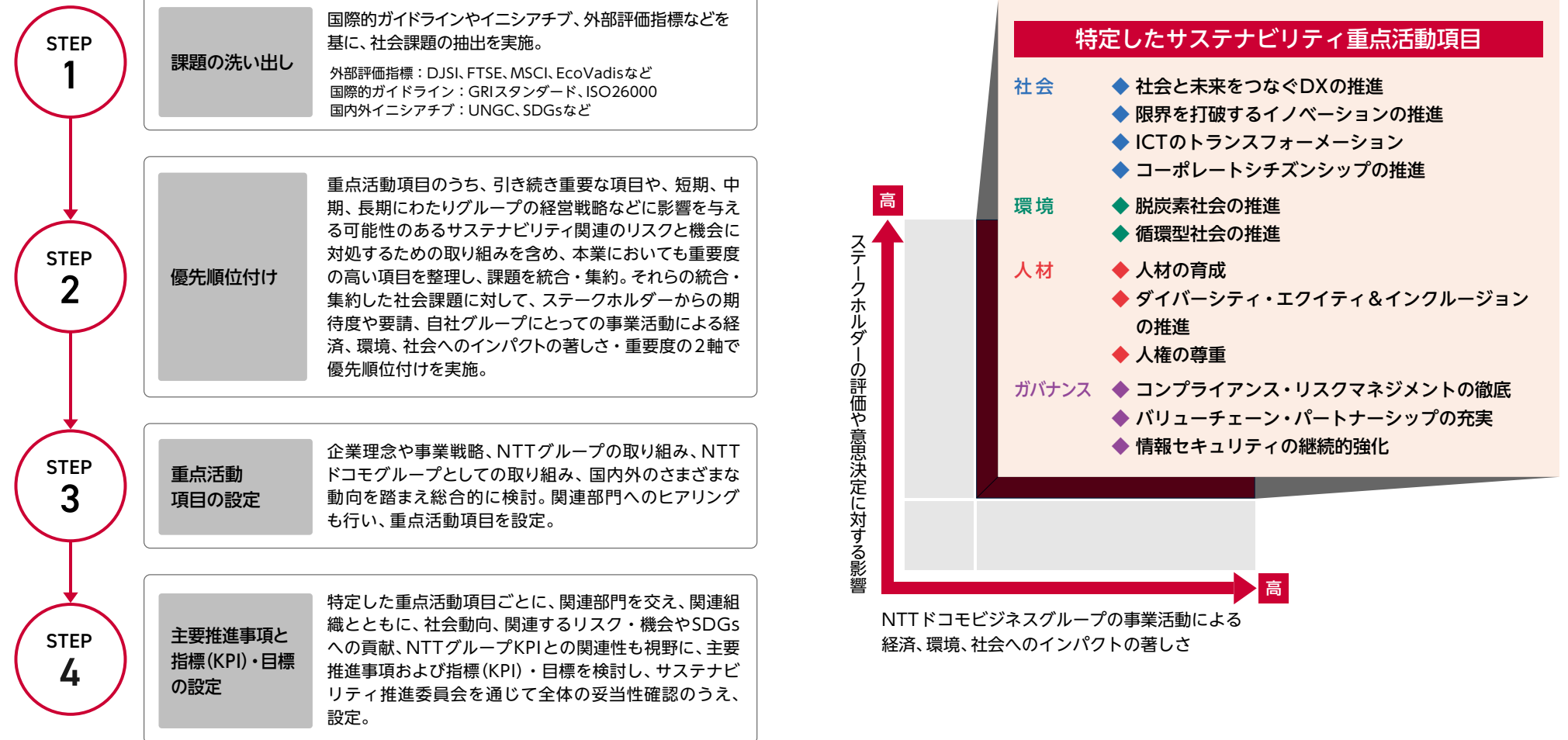
ガバナンス

第三者保証

企業情報

重点活動項目(マテリアリティ)の特定・設定および主要推進事項、指標(KPI)・目標の設定プロセス

NTTドコモビジネスグループのマテリアリティは国際的な社会の動向や事業における重要性を加味し、2021年度に見直しを実施しました。重要性の再評価は適宜実施しています。





CONTENTS

トップコミットメント
私たちがめざす社会
事業戦略
私たちの事業を通じた社会課題の解決
NTTドコモビジネスグループのサステナビリティ
サステナビリティマネジメント
特集
社会
環境
人材
ガバナンス
第三者保証
企業情報

指標・目標と活動の成果

2025年度のKPI設定にあたっては、NTTドコモグループ全体のサステナビリティ推進方針や、グローバルなガイドライン (GRI、ISO26000、SDGs等)、外部評価指標 (DJSI、FTSE、MSCI、EcoVadis等) を踏まえ、グループとして基本的な項目の達成状況も考慮しつつ、重点領域ごとにKPIの見直し・統合を行いました*。サステナビリティ基本方針の重点領域 (社会、環境、人材、ガバナンス)、重点活動項目ごとの2024年度の主要推進事項、指標 (KPI) ・目標と活動の成果 (振り返り、評価と今後に向けて)、そして、それらを受けた2025年度の主要推進事項と指標 (KPI) ・目標は、次の通りです。

※ KPI件数が減少している項目については、対象範囲の明確化や重点化によるものであり、管理の緩和を意図したものではありません。KPIから除外した項目については、グループ全体での達成や外部評価指標への統合等を理由としています



社会

めざす未来

イノベティブで活力にみち、強靱で安心・安全、
そして価値創発で持続的に発展するよりよい未来

2024年度			
主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価

重点活動項目 | 社会と未来をつなぐDXの推進

社会・産業・ワーク&ライフ スタイルDXの推進	定量 統合ソリューション収益および収益比率	● 49.3% ※ 2025年度2兆円、50%目標に対し、2024年度、前倒しでほぼ達成	△
	定量 顧客エンゲージメント (NPI,NPS) 対前年度以上 ※ 従業員5～1000人の企業層対象 ※ 顧客エンゲージメント NPI (Next Purchase Intention) は継続利用意向、NPS* (Net Promoter Score®) は他者への推奨度を測る指標です	● NTTドコモグループ全体 NPI:65.8%、NPS:-28.6 ● 法人事業 NPI:46.0%、NPS:-26.0	×

※ 本文中に記載されているNet Promoter ScoreおよびNPSは、バイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズ(現NICE Systems, Inc.)の登録商標です



2025年度

主要推進事項	指標 (KPI)
--------	----------

社会・産業・ワーク&ライフ スタイルDXの推進	定量 顧客エンゲージメント (NPI、NPS) 対前年増 ※ 従業員5～1,000名の企業層対象 ※ NPSの改善およびNPIの向上の実現

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成



CONTENTS

トップコミットメント
私たちがめざす社会
事業戦略
私たちの事業を通じた社会課題の解決
NTTドコモビジネスグループのサステナビリティ
サステナビリティマネジメント
特集
社会
環境
人材
ガバナンス
第三者保証
企業情報

2024年度			
主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価
DX推進による持続可能な地域社会の実現	<div>定量</div> 地域協創ビジネスの成長 (対前年増)	<ul style="list-style-type: none">● 地域協創ビジネス 対前年140%成長● 各業界の課題やニーズにマッチしたソリューションモデルを創出、全国に横展開することで堅調に拡大	○
グローバルビジネスDXの推進	<div>定性</div> グローバルDXソリューションの展開	<ul style="list-style-type: none">● 製薬会社への世界170拠点のグローバルゼロトラストマネージドネットワーク提供案件を受注● 中国で日系企業初のセキュリティオペレーションセンタ(SOC)を立ち上げ	○

重点活動項目 | 限界を打破するイノベーションの推進

創造的イノベーションの創出	<div>定量</div> イノベティブな事業の持続を支える知財重点テーマの特許出願(テーマごとに2桁/年の特許出願) テーマ： <ul style="list-style-type: none">● Smart World● 統合型ネットワークサービス (RINK)● 生成AI● IOWN®	<p>設定した知財重点テーマに対して年間2桁出願を達成</p> <ul style="list-style-type: none">● Smart World：20件● 統合型NWサービス (RINK)：58件● 生成AI：60件● IOWN®：11件	○
---------------	---	---	---

重点活動項目 | ICTのトランスフォーメーション

自然災害に強く、高信頼で、安心・安全なICTサービスの提供	<div>定量</div> 重大事故発生件数ゼロ	0件	○
-------------------------------	--------------------------	----	---

2025年度	
主要推進事項	指標 (KPI)
DX推進による持続可能な地域社会の実現	<div>定量</div> 地域協創ビジネスの成長 (対前年増)

創造的イノベーションの創出	<div>定量</div> イノベティブな事業の持続を支える知財重点テーマの特許出願(2桁/年の特許出願) テーマ： <ul style="list-style-type: none">● Smart World● 金融DX● 生成AI● IOWN®
---------------	---

自然災害に強く、高信頼で、安心・安全なICTサービスの提供	<div>定量</div> 重大事故発生件数ゼロ	
	<div>定量</div> <div>新</div> 生活基盤サービス等事故発生件数：0件	



CONTENTS

トップコミットメント
私たちがめざす社会
事業戦略
私たちの事業を通じた社会課題の解決
NTTドコモビジネスグループのサステナビリティ
サステナビリティマネジメント
特集
社会
環境
人材
ガバナンス
第三者保証
企業情報

2024年度			
主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価
先進的なICTサービスの提供	定量 先進的で強固なセキュリティサービスの開発／メニューの追加：3件	提供サービス：3件 ● クラウド型WAF ● IDセキュリティサービスのサポート製品 ● マネージドSOARにおける連携製品	○
	定量 安心・安全なICT社会の持続的発展を支援するマネージドサービスの開発／新メニューの提供：2件	提供サービス：2件 「X Managed®」プロフェッショナルメニューの拡充（メニュー追加2件） ● クラウドセキュリティ（CNAPP）メニュー追加 ● WAFCharmメニュー追加	○
	定量 顧客提供価値にフォーカスしたボイス・アプリケーションサービスの新規メニュー提供：3件	提供サービス：3件 ● Arcstar IP Voice (Webex Calling) ● Arcstar IP Voice Connect NICE CXoneプラン ● ビジネスdシリーズの拡充	○
	定量 先進的で柔軟なネットワークサービスの提供：4件	提供サービス：4件 ● 「docomo business RINK®」ギャランティ接続 ● 「docomo business RINK®」vUTM2、IdaaS ● docomo business 5G ● ローカル5Gサービス TypeD	○
重点活動項目 コーポレートシチズンシップの推進			
持続可能な未来に資する社会貢献活動の推進	定量 新規社会貢献活動の実施：2件	以下の2件を実施 ● 能登半島ボランティア派遣施策（NTTドコモグループ述べ260名、うちNTTドコモビジネス150名） ● 「ドコモビジネス共創の森」設立	○

2025年度	
主要推進事項	指標 (KPI)
先進的なICTサービスの提供	定量 先進的で強固な情報・サイバーセキュリティの提供：2件 ※ グローバルを含む
	定量 顧客の安心・安全なトランスフォーメーションを支援するマネージドサービスの提供：2件 ※ グローバルを含む
	定量 先進的で柔軟なコミュニケーション・アプリケーションサービスの提供：2件 ※ グローバルを含む
	定量 先進的で柔軟なネットワークサービスの提供：4件 ※ グローバルを含む
持続可能な未来に資する社会貢献活動の推進	定量 社員の課題解決能力につながる社会貢献活動の実施：1件以上

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成



CONTENTS

トップコミットメント
私たちがめざす社会
事業戦略
私たちの事業を通じた社会課題の解決
NTTドコモビジネスグループのサステナビリティ
サステナビリティマネジメント
特集
社会
環境
人材
ガバナンス
第三者保証
企業情報



環境

めざす未来			
カーボンニュートラルで、資源が循環し、生物多様性が保全されて自然と共生する、グリーンな未来			
2024年度			
主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価
重点活動項目 脱炭素社会の推進			
GHG排出量の削減	定量 カーボンニュートラル(2030年度) ※ GHG プロトコル：Scope1,2を対象 2024年度GHG排出量 (Scope1,2)：9.5万t-CO ₂ e	9.4万t-CO ₂ e	○
	定量 ネットゼロ(2040年度) ※GHGプロトコル：Scope1,2,3を対象	223.2万t-CO ₂ e	○
	定量 データセンター電力 (Scope2の由来となる電力) グリーン化率：2030年度100%、2024年度54%	48% ※ 海外データセンタにおいてScope2の由来となる電力のパウンダリを見直した影響で、海外データセンタの電力使用量(100%グリーン化済)が低下したため、全体のグリーン化率が低下。見直し後のパウンダリによる2024年度指標は48%	×
EV(電気自動車)の導入	定量 EV(電気自動車)導入率：2030年度100%、2025年度50%	57%	○
エネルギー効率向上の推進	定量 通信事業の電力効率：2030年度に2013年度比10倍以上	5.4倍	○
GHG排出量の削減に貢献するサービス等の提供	定量 GHG排出量削減をはじめとする地球環境に貢献するサービスの共創・拡大等の推進：5件以上	● 森林由来J-クレジットの創出・審査・取引を包括的に支援する「森林価値創造プラットフォーム(森かち)」の提供 ● Webアプリケーション「Green Program® for Employee」を活用した社内企画など	○



2025年度	
主要推進事項	指標 (KPI)
GHG排出量の削減	定量 カーボンニュートラル(2030年度) ※ GHG プロトコル：Scope1,2を対象 2025年度GHG排出量 (Scope1,2)：9.2万t-CO ₂ e
	定量 ネットゼロ(2040年度) ※GHGプロトコルScope1,2,3を対象
	定量 データセンター電力 (Scope2の由来となる電力) グリーン化率：2030年度100%、2025年度57%(国内54%、海外：100%)
EV(電気自動車)の導入	定量 EV(電気自動車)導入率：2030年度100%、2025年度64%
(2025年度は設定せず)	
(2025年度は設定せず)	



CONTENTS

トップコミットメント
私たちがめざす社会
事業戦略
私たちの事業を通じた社会課題の解決
NTTドコモビジネスグループのサステナビリティ
サステナビリティマネジメント
特集
社会
環境
人材
ガバナンス
第三者保証
企業情報

2024年度				2025年度	
主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価	主要推進事項	指標 (KPI)
3R (削減、再使用、再資源化) の徹底	定量 廃棄物のリサイクル率：2030年度99%以上、2024年度97.8%以上	96.7% ※ 撤去通信設備：99.9%、建設廃棄物：94.7%、オフィス廃棄物：97.6%	△	3R (削減、再使用、再資源化) の徹底	定量 廃棄物のリサイクル率：2030年度99%以上、2025年度計画97.8%以上
	定量 廃棄物処理 (PCB) に関する法令違反件数：0件	1件 ※ 高濃度PCB含有装置については、発見次第、速やかに必要な行政対応の上、適正な処分を実施。罰則・罰金などの支払いの発生なし	×		定量 廃棄物処理 (PCB) に関する法令違反件数：0件
	定性 業務用紙 (事務用紙・請求書) 使用量の継続的削減	業務用紙使用量：272t (対前年▲27t)	○		(2025年度は設定せず)

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成

P.025 ▶ 2030年度カーボンニュートラル (Scope1,2) および2040年ネットゼロ (Scope1,2,3) の実現に向けた考え方については、レポート内「環境マネジメント」をご覧ください



CONTENTS

トップコミットメント
私たちがめざす社会
事業戦略
私たちの事業を通じた社会課題の解決
NTTドコモビジネスグループのサステナビリティ
サステナビリティマネジメント
特集
社会
環境
人材
ガバナンス
第三者保証
企業情報



人材

めざす未来 多様性に富み、誰もが尊重され共に高め合い、社会に応じて自分らしく活躍できる未来

2024年度			
主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価

重点活動項目 | 人材の育成

社員がキャリア実現のために自律的に学び成長できる施策の推進(社員と事業が共に成長する成長循環)	定量 一人当たり研修費用：22万円／年	26.49万円／年	○

重点活動項目 | ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進

多様な人材の雇用・育成・登用と機会均等の推進	定量 女性管理者比率：2025年15%	13.6% ^{※1}	○
	定量 女性の新任管理者登用率：30%	30% ^{※1}	○
	定量 役員に占める女性割合：2025年25～30%	24.2%	×
	定量 男性育休取得率：100%	105% ^{※2}	○
	定量 障がい者雇用率：2.5%	4.9%(2024年6月1日時点、NTTドコモビジネス直接雇用者)	○

※1 2025年4月1日時点 ※2 集計範囲：NTTドコモビジネス単体および出向受け入れ含む ※3 NTTドコモグループ全体は2.59%(2024年6月1日時点)



2025年度	
主要推進事項	指標 (KPI)

社員がキャリア実現のために自律的に学び成長できる施策の推進(社員と事業が共に成長する成長循環)	定量 一人当たり研修費用(モニタリング指標として設定) ● 一人当たり研修費用 ● キャリアサポート面談満足度 ● キャリアデザインフォーム登録率

多様な人材の雇用・育成・登用と機会均等の推進	定量 女性管理者比率：2025年15%
	定量 女性の新任管理者登用率：30%
	定量 役員に占める女性割合：2026年25～30%
	定量 男性育休取得率：100%
	定量 新 男性育児事由休暇希望取得率：100%
	定量 障がい者雇用率：2.5%

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成



CONTENTS

トップコミットメント
私たちがめざす社会
事業戦略
私たちの事業を通じた社会課題の解決
NTTドコモビジネスグループのサステナビリティ
サステナビリティマネジメント
特集
社会
環境
人材
ガバナンス
第三者保証
企業情報

2024年度			
主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価
多様な人材の雇用・育成・登用と機会均等の推進	定量 外部人材の採用：30%	46.3%	○
	ワークライフバランスの推進	● NTTドコモビジネスグループ：64% (対基準年+5ポイント) ● NTTドコモビジネス単体：68% (対基準年+6ポイント)	○
ワークライフバランスの推進	定量 自律的な働き方の肯定的な回答率 (モニタリング指標)	87%	—※
	労働安全衛生・健康管理の徹底	0件 (設備工事中の重篤人身事故を含む)	○
労働安全衛生・健康管理の徹底	定量 業務災害ゼロ		○
	定量 プレゼンティーイズム損失率	3.7% ※NTTドコモグループ全体目標は6.0%	○

重点活動項目 人権の尊重			
プロアクティブな人権啓発活動の推進	定量 人権研修受講率：前年度以上	● NTTドコモビジネスグループ:98.1% (対前年度+0.8ポイント) ● NTTドコモビジネス単体：98.0% (対前年度+0.3ポイント)	○
	定量 人権デューデリジェンスの実施：1回以上／年	● NTTグループ共通の人権デューデリジェンス施策であるEcoVadisの受検 ● 国際人権NPOと自社人権課題の特定に向けた準備を開始	○
	定量 人権に関する違反件数：0件	3件	×

※ モニタリング指標のため評価は実施せず

2025年度	
主要推進事項	指標 (KPI)
多様な人材の雇用・育成・登用と機会均等の推進	定量 外部人材の採用 (モニタリング指標として設定)
	ワークライフバランスの推進
ワークライフバランスの推進	定量 エンゲージメントスコア対基準年改善
	定量 自律的な働き方の肯定的な回答率 (モニタリング指標として設定)
労働安全衛生・健康管理の徹底	定量 業務災害ゼロ
	定量 設備工事中の重篤人身事故ゼロ
労働安全衛生・健康管理の徹底	定量 プレゼンティーイズム損失率：6.0%

プロアクティブな人権啓発活動の推進	定量 人権に関する違反件数：0件
	PRIDE指標 (LGBTQ浸透指標)
PRIDE指標 (LGBTQ浸透指標)	定量 新 PRIDE指標 (LGBTQ浸透指標)：GOLD獲得

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成



CONTENTS

トップコミットメント
私たちがめざす社会
事業戦略
私たちの事業を通じた社会課題の解決
NTTドコモビジネスグループのサステナビリティ
サステナビリティマネジメント
特集
社会
環境
人材
ガバナンス
第三者保証
企業情報



ガバナンス

めざす未来			
高い倫理観と確固としたガバナンスのもと、常に信頼され、多彩な共創がサステナブルな社会を織りなし、紡ぐ未来			
2024年度			
主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価
重点活動項目 コンプライアンス・リスクマネジメントの徹底			
高い倫理観の共有とコンプライアンスの徹底	<div>定量</div> 重大なコンプライアンス違反発生件数：0件	0件	○
企業倫理の維持向上をめざす企業風土	<div>定量</div> 職場がオープンな雰囲気であるとする社員の回答率：97%	98.1%	○
リスク管理体制の継続的充実	<div>定性</div> 全社リスクマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none">● ビジネスリスクマネジメント推進委員会(2回)、小委員会(10回)開催● 四半期幹部会議報告(3回)	○
重点活動項目 バリューチェーン・パートナーシップの充実			
サステナビリティ・グリーン調達の徹底に向けたサプライヤとの協働	<div>定量</div> 改善要請が必要なサプライヤとの直接対話実施率：100%	100%(6社)	○
ステークホルダー・エンゲージメントの充実	<div>定量</div> NGO／NPOや地域社会など幅広いステークホルダーとの対話機会の拡充(対前年度増)	SAQなどを通じたサステナビリティ全般に関する顧客との対話の実施など全4件の対話を実施(対前年度+1件)	○



2025年度	
主要推進事項	指標 (KPI)
高い倫理観の共有とコンプライアンスの徹底	<div>定量</div> 反競争的な違反行為・贈収賄違反件数：0件
企業倫理の維持向上をめざす企業風土	<div>定量</div> 自分の職場は風通しのよいオープンな雰囲気であり、自分の意見を気軽に発現できるとする社員の回答率：90%
リスク管理体制の継続的充実	<div>定性</div> 全社リスクマネジメントの推進
サステナビリティ・グリーン調達の徹底に向けたサプライヤとの協働	<div>定量</div> 改善要請が必要なサプライヤとの直接対話実施率：100%
ステークホルダー・エンゲージメントの充実	<div>定量</div> ステークホルダーとの対話機会の拡充(3件以上)

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成



CONTENTS

トップコミットメント
私たちがめざす社会
事業戦略
私たちの事業を通じた社会課題の解決
NTTドコモビジネスグループのサステナビリティ
サステナビリティマネジメント
特集
社会
環境
人材
ガバナンス
第三者保証
企業情報

2024年度			
主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価
重点活動項目 情報セキュリティの継続的強化			
セキュリティ・マネジメントの継続的強化	定量 サイバー攻撃に伴う重大なインシデント発生件数：0件	1件	×
	定量 重大な情報漏洩件数：0件	1件	×

2025年度	
主要推進事項	指標 (KPI)
セキュリティマネジメント・個人情報保護の継続的強化	定量 サイバー攻撃に伴う重大なインシデント発生件数：0件
	定量 重大な情報漏洩件数：0件

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成



CONTENTS

トップコミットメント

私たちがめざす社会

事業戦略

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTドコモビジネスグループの
サステナビリティ

サステナビリティマネジメント

特集



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報

NTTグループとの関係

グループ一体でのサステナビリティの推進

NTTドコモビジネスでは、NTTドコモグループ、そしてNTTグループの一員として、「NTTグループサステナビリティ憲章」にもとづき、グループ一体での社会的課題の解決に取り組んでいます。NTTグループではこれに伴い、代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置し、サステナビリティに関する基本戦略、活動の実施状況、情報開示について議論するなど、取り組みを推進しています。NTTドコモビジネスグループも事業会社として参加し、委員会での決議事項については活動内容に反映していきます。

また、NTTグループでは、サステナビリティの取り組みに関する理解および促進を目的として、2013年度より「NTTグループサステナビリティカンファレンス」を開催しています。NTTドコモビジネスグループは同カンファレンスで2016年度から連続して表彰されています。積極的にサステナビリティの観点で貢献する施策やサービス事例を共有・報告しており、第12回となる2024年度は「森かち～カーボンクレジットで森林の価値を創造」が最優秀賞の1つに選ばれました。



「NTTグループサステナビリティ憲章」の詳細はこちらをご覧ください

<https://group.ntt.jp/newsrelease/2021/11/10/211110d.html>



「森かち」についてはレポート内「特集」をご覧ください

外部との関係

外部団体への参加

NTTドコモビジネスでは外部団体・組織への参加を積極に行い、情報共有を行うことで社内の枠組みを超え、社会課題の解決につながる取り組みの共有を図っています。

外部団体への参加状況(主な団体のみ掲載)

- ・社団法人電気通信協会(TTA)
- ・(一社)ICT-ISAC
- ・経済同友会
- ・金融情報システムセンター(FISC)
- ・東京人権啓発企業連絡会
- ・一般社団法人AIガバナンス協会
- ・気候変動イニシアティブ(JCI)

社外から経営陣へのアドバイザー

多様なステークホルダーの視点を適切に加味した経営の実現は重要な責務であると考えています。この考えに即し、各役員は、事業を通じた日常的な対話に加え、内外の会合への参加や個別面談などを積極的に行っています。特に事業戦略にサステナビリティの視点を加味するうえで内外の専門家・有識者との意見交換が重要であると考え、経営陣と外部有識者のダイアログや勉強会を実施しています。



「ダイアログ一覧」はこちらをご覧ください

<https://www.ntt.com/about-us/csr/dialog.html>